

未解決25年 やりきれぬ思い

岐阜・三田洞の女性強殺

被害者の長女「犯人野放し いいのか」

岐阜市三田洞東で2000年12月、高田千代子さん(77)が自宅で殺害され、現金が奪われた強盗殺人事件は28日、未解決のまま発覚から25年を迎える。今年10月には、発生から約26年がたった名古屋市西区主婦殺人事件の容疑者が逮捕された。高田さんの長女林清美さん(77)は大垣市は「犯人を逮捕してほしい。でもそれ以上に、母の最期をみとてあげたかった」。やりきれない思いを抱えながら、事件解決を願い続ける。

みぞれの降る寒い日だった。連絡がつかないことを心配し、林さんの夫と三男が様子を見に行くと、自宅で亡くなつた高田さんを発見した。

(井上京佳)

見林さんはタクシーで現場に駆けつけたものの、捜査のため、亡きがらと対面できたのは葬儀の直前だった。【本当は着物を着せて

あげたかった】。現場保存が優先され、洋服だんすにあつたスカーフを棺に入れるのがやっとだった。高田さんは警察官だった夫をじくしてから17年、1月で元氣に暮らしていた。高田さんは証拠を残そうと、現場の自宅を5年ほどそのままにしていたが、借り地だったため手放さざるを得なかつた。

名古屋市西区主婦殺人事件の被害者の夫高羽悟さんは、林さんも参加する被害

県警「情報寄せて」

県警は事件発覚から今年11月末までに、のべ約9万7千人を投入して捜査をしているものの、情報提供は16年の1件を最後に途絶えている。県警捜査1課の担当者は「どんなさいなごともいいので、情報を寄せてほしい」と話す。情報提供は岐阜北署=058(233)0110=。



事件で亡くなった母の高田さんと警察官たち
た父の写真を見つめる林さん=大垣市内で



高田さんのキャッシュカードで現金を引き出す男を捉えた防犯カメラの映像=2020年12月26日(県警提供)

岐阜市高齢女性強盗殺人事件
岐阜市高齢女性強盗殺人事件
三田洞東の無職高田千代子さんが、自宅で電気コードで首を絞められて殺害されているのが見つかった。殺害されたとみられる26日夕、現場から約8キロ離れた同市則武の岐阜信用金庫鷺山支店(その後移転)のATMで、男が高田さんのキャッシュカードを使って50万円の防弾カードに映った男の映像をホームページで公開している。

者遺族の会「宙の会」の一員。これまで互いの事件の情報提供を求めるチラシ配りを続けてきた。事件現場のアパートを26年間借り続けている高羽さんについて、林さんは「容疑者の逮捕は、高羽さんの執念があつたからだと思う」と話す。秋以降は名古屋の事件の報道に接して、母の事件を思い出すことが増えた。

林さんは今年9月、高田さんが亡くなつたときと同じ年齢になつた。これまで母の背中を追うような気持ちで過ごしてきたが、これからは「母と一緒に頑張つて生きていく」という。

事件解決を諦めて身軽になれたらしいと思うこともあらが「犯人を野放しにしていいのでしょうか」。